

【食育・食材体験】菊の節句、食用菊の花びら摘み体験をしました！

9月9日は重陽の節句「菊の節句」と呼ばれ、中国の重日（奇数が重なる月日）の考え方によるもので、陽数の一番大きな9が重なるめでたい日となります。重陽には菊にまつわるものを多用した「菊尽くし」が喜ばれます。菊の花はもちろんのこと、菊の食べ物、菊の文様の器、菊の絵など、いろいろなものを組み合わせてみるのもよいそうです。

そこで、本校では9月7日、高等部2、3年生の生徒が、食用菊の花びら摘みを行いました。はなにはたくさんの花びらがついています。一つずつ指でつまんで、ちぎれないようにひっぱって、ほぐしていきます。コツが必要な作業でした。給食では次の日に、この菊の花を野菜と一緒にあえて甘酢あえにしました。

また、重陽の節句は秋の収穫の時期でもあることから、次第に秋の収穫祭として祝われるようになりました。命を尊び、健やかで幸せな日々が続くことを願う重陽の節句を、子どもたちにも伝えていきたいです。



菊の花です



集まった花びらです



ゆでるとこんなに小さくなります



和食献立の給食を彩ります



菊花和えの完成！



ほかの野菜と混ぜ合わせます



高等部のみんなは集中しています！